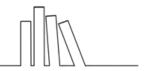




図書館における資料保存

国立国会図書館 収集書誌部 資料保存課



図書館における資料保存

- 1. 基本的な考え方
- 2. 劣化・破損要因と予防的対策
- 3. 劣化・破損した資料への手当て
- 4. まとめ

1. 基本的な考え方

図書館サービス

蔵書を基盤として提供される情報サービス

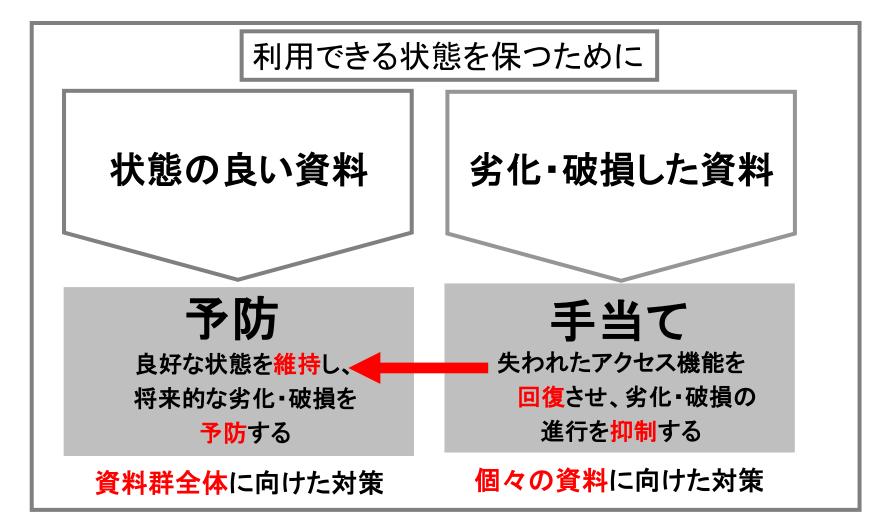
蔵書の計画的な構築・ 書誌データ整備 (**資料収集・整理**) 蔵書の適切な 維持・管理 (**資料保存**)

利用者が必要とする資料や情報を提供

資料へのアクセスを保証 (図書館の使命)

資料をできるだけ長く「利用できる状態」に保つ

1. 基本的な考え方



さまざまな劣化・破損要因

外的要因

地震、水害、火災、大気汚染、温湿度、虫、カビ、塵、埃、光

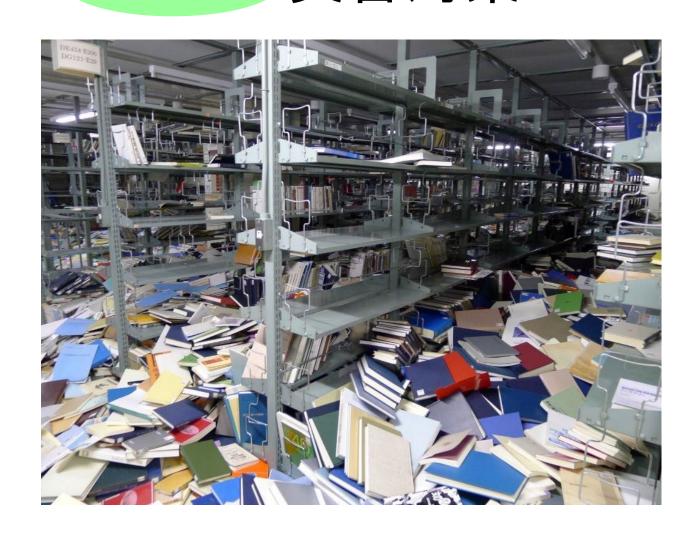
内的要因

媒体自体の劣化(酸性紙、マイクロフィルム等) 製本状態(無線綴じ等)

人的要因

不適切な取り扱い・保存手当て、 排架、複写、展示

2. 劣化·破損要因と予防的対策 <u>外的要因</u> 災害対策



外的要因 災害対策



外的要因 災害対策

- ●災害対策マニュアルの整備
- ●防災訓練
- ●資料の防災マップ、緊急連絡網
- ●建物・設備の定期点検

「IFLA 災害への準備と計画: 簡略マニュアル」(当館HPより)

https://www.ndl.go.jp/jp/preservation/manual/index.html

「みんなで考える図書館の地震対策」

(日本図書館協会発行・ISBN 978-4820412069)

「図書館におけるリスクマネージメントガイドブック」(文部科学省HPより)

http://www.mext.go.jp/a menu/shougai/tosho/houkoku/1294193.htm

「資料の保存: 資料防災」(当館HPより)

https://www.ndl.go.jp/jp/preservation/collectioncare/disaster_p.html



2. 劣化·破損要因と予防的対策 м的要因 災害対策

https://www.ndl.go.jp/jp/preservation/collectioncare/disaster_p.html



外的要因 環境管理

(温湿度、塵、埃、大気汚染)

●温湿度の管理

保管環境と閲覧環境の温湿度の変化を小さく

- ●空調設備の整備・点検
- ●定期的な清掃

自館の状況、 所蔵資料の種類・内容、 設備、費用など 複数の要因を検討し、 適切な条件を考える

外的要因 環境管理一光

- ●UVカット蛍光灯や UVカットフィルム LEDライトの利用
- ●こまめな消灯
- ●カーテンやブラインドの活用
- ●保存容器への収納



光による退色

外的要因

環境管理ーカビ、虫

●カビ

●紙に被害を与える虫 (シバンムシ、ゴキブリ、シミ カツオ<u>ブ</u>シムシなど)



Integrated Pest Management

総合的有害生物管理



カビ被害資料



虫被害資料

有害生物(カビや害虫)の発生を防ぐために、複数の対策を講じ 予防管理を行うこと。 早い段階で対策を行うと効果が高い。

5つのステップ

参考: 木川りか「保存環境とIPM(総合的有害生物管理)」 『情報の科学と技術』60(2)2010 pp.55-60 http://ci.nii.ac.jp/naid/110007539709

1. Avoid	カビや虫を発生	館内清掃、資料クリーニング、空調管理
(回避)	させるものの除去	整理整頓、不要物の撤去
2. Block	水や害虫が侵入	外周の点検、 粘着マット、靴カバー、
(遮断)	するルートの遮断	書庫搬入前殺虫、隙間の目張り、網戸
3. Detect	早期発見	目視点検、トラップ調査、温湿度の計測、
(発見)	記録の作成	通報ルートの整備、情報共有
4. Respond	資料に安全な方法	空調設備の調節や導入、消毒用エタ
(対処)	での対処	ノールによる清拭、専門業者への依頼
5. Recover/Treat (復帰)	安全な収蔵空間に 資料を戻して復帰	記録の作成、再発防止、継続的な観察

Detect(発見する)の例







2. 劣化・破損要因と予防的対策 内的要因 媒体自体の劣化・製本状態

- ●酸性紙
 - ➡ 脱酸性化処理(大量・少量)
- ●マイクロフィルム (TACベース) の劣化 (酢酸臭、フィルムのべとつき等)
 - → 放酸、包材交換等
- ●製本状態(無線綴じ等)
 - ➡事前製本、取扱いに留意等

媒体変換(複製物の作製)



酸性紙



劣化したフィルム

2. 劣化・破損要因とその対策 人的要因 資料の取り扱い、保存手当

- ●セロハンテープ・クリップ
- ●切り取りや書き込み・飲食等



- ●利用者や職員への教育・指導
- 利用案内・掲示による注意喚起



中性紙の厚紙+綿紐

クリップや輪ゴム

2. 劣化・破損要因とその対策 人的要因 **排架・複写・展示**

- ●適切な排架
- ●複写時の破損に留意

(複写の制限・禁止、複写機の改善)

- ●資料にやさしい展示方法
- (長期展示は避ける、紫外線対策 、 展示補助具の使用、適正な温湿度、 照度)



不適切な排架



展示補助具の使用

2. 劣化・破損要因と予防的対策 まとめ

劣化•破損要因

劣化・破損を防ぐ対策

外的要因

地震、水害、火災 大気汚染、 温湿度 虫、カビ、塵、埃、光

災害対策 環境管理 IPMの導入 保存容器

内的要因

媒体自体の劣化 製本状態 脱酸性化処理 放酸、包材交換 適切な取り扱い 媒体変換(複製物の作製)

人的要因

不適切な取り扱い排架、複写、展示

適切な取り扱い 利用者・職員教育

3. 劣化・破損した資料への手当て

手当ての選択肢

補修

- ■簡易な補修
- •専門的な補修

媒体変換

- デジタル化
- -マイクロ化
- •複製物の作製

保存容器

- ▪箱
- -フォルダー
- •帙 等

廃棄 買い替え

- •廃棄
- ・買い替え



保存方針

劣化・破損の度合い

資料の利用頻度

資料の価値

代替資料の有無

費用

3. 劣化・破損した資料への手当て

補修

各館の保存方針のもとで

手当てする必要のある資料を選別し、

再び利用できる状態にするために

必要な手当てを、

過不足なく行う







4. まとめ



4. まとめ

資料が傷んでしまってから手当てをするよりも 予防的な対策に重点をおく

・保存方針に基づいて、必要な手当てを過不足な く行う

国立国会図書館HP>資料の保存

https://www.ndl.go.jp/jp/preservation/index.html



曾国立国会义書館 23

国立国会図書館HP>資料の保存> マニュアル・パンフレット・翻訳資料

- カビが発生した資料をクリーニングする
- 水にぬれた資料を乾燥させる処置例1
- 水にぬれた資料を乾燥させる処置例2
- 小規模水災害対応マニュアル 作業の流れ
- ドライクリーニングー刷毛で埃を払う
- ドライクリーニングー粉消しゴムを使って汚れをとる
- 遠隔研修「動画で見る資料保存:簡易研修」(YouTubeで開きます)
- ・ 遠隔研修「動画で見る資料保存: 簡易帙をつくる」 (YouTubeで開きます)
- 遠隔研修「図書館資料の防災対策」 (YouTubeで開きます)



保存容器と

予防のための道具紹介



保存容器

保存箱



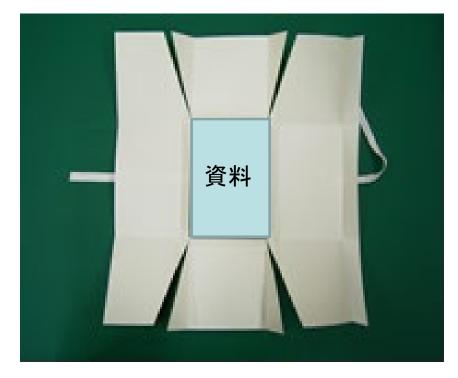
中性紙封筒



保存容器

簡易帙

公益財団法人・三康文化研究所附属三康図書館 考案

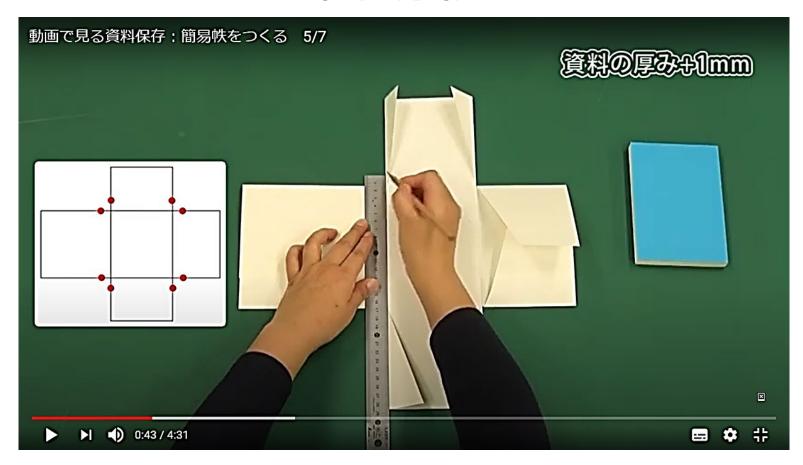


簡易帙を展開したところ



折りたたんだところ

簡易帙



「動画で見る資料保存:簡易帙をつくる(YouTube)」 https://www.youtube.com/playlist?list=PLXvKjMC1JnVsWhs4DGNn6knpu7sRaKLKf

ブックカバー

プラスチックフィルム製 紙製



クリーニング

刷毛・クロス



集塵機



クリーニング

掃除機 (HEPAフィルター付き)



クリーナー



クリーニング

モップ/フロアシート



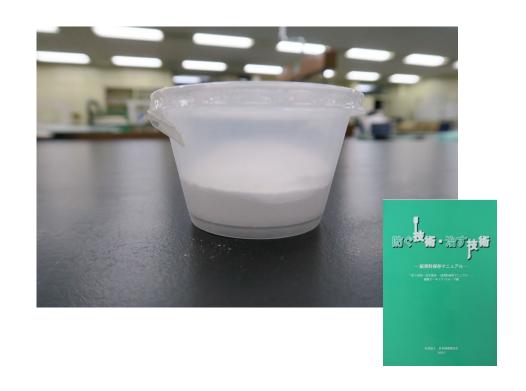
ハンディワイパー



接着剤

煮糊 正麩糊





和紙

補修に使用する和紙

→ <u>楮100%のもの</u>を使用する!

- ●物性が比較的安定している。
- ●資料に及ぼす影響が少ない
- ●必要があれば資料を補修前の状態に戻すことができる
- ●原料の繊維が長く資料とのなじみが良い

厚さ	坪量の目安	用途
極薄	5g/㎡程度	文字の上の破れ
薄	15g/㎡程度	文字のない部分の破れ 外れたページの補修
厚	30g/㎡程度	ページ欠損の補修



和紙の表と裏

表:ツルツルしてる 裏:ザラザラしてる

- ※坪量は紙の厚みを示す単位で、1㎡あたりの重さを示す。
- ※表紙など、より厚い補修紙が必要な場合は貼り合わせて厚くする。

和紙

補修用和紙 セット販売



和紙見本帳

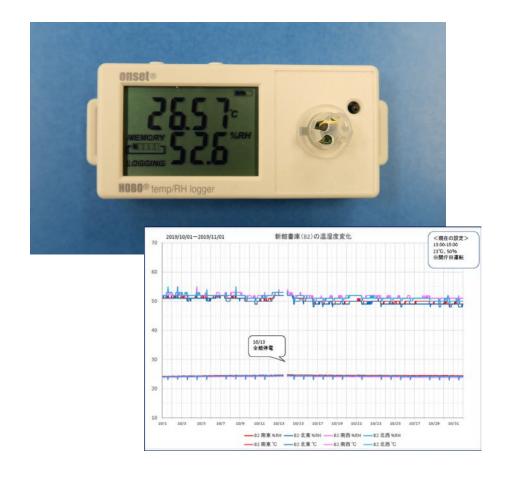


温湿度の管理

• デジタル温湿度計



• データロガー



トラップ

低酸素殺虫処理中サンプル





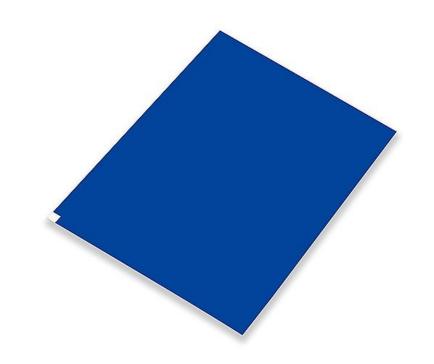
「文化財害虫事典」と「文化財害虫カード」



靴カバー







配布資料

資料の基本的な取扱い方



手についた汚れを落としてから 資料を扱いましょう



資料を広げるためのスペースを十 分にとりましょう



資料を積み上げる時は、必要最低 限の冊数にとどめましょう



片手で持ちきれない量の資料を運ぶ時 は、ブックトラックを使いましょう



必要以上の力をかけて資料を開いたり、資料 にもたれかかったりしないようにしましょう



保存容器に入っている資料は、特に慎重 に扱いましょう

配布資料



参考資料 国立国会図書館 HP (資料の保存) https://www.ndl.go.jp/jp/preservation/index.html 当館の資料保存活動の資料保存全般について紹介。当館で刊行している 資料保存関係のマニュアルやパンフレットの PDF 版、その他国立国会図書館が 語訳した資料などを掲載。 『IFLA 図書館資料の予防的保存対策の原則』(シリーズ本を残す(9)) 木能衛監修 国立国会図書館翻訳 日本図書館協会 2003 第9章「参考文献」に資料保存に関する基本的な日本語文献リスト。 第 10 章「関連機関」に資料保存について相談できる国内団体の情報を掲載。 『資料保存の調査と計画』安江明夫監修 日本図書館協会資料保存委員会編集企画 日本図書館協会 2009 『防ぐ技術・治す技術ー紙資料保存マニュアルー』 「防ぐ技術・治す技術ー級資料保存マニュアルー」編集ワーキング・グループ編 日本図書館協会 2005 第5章「付録5.5 専門・関連機関」に捕鯨に必要な材料と道具の入手先を掲載。 『文化財 IPWの半引き』公益財団法人 文化財虫菌害研究所 編 2014 『文化財収歳履示施設のカビ被害対策』公益財団法人 文化財虫菌害研究所 縄 2015 『展示・収蔵施設で見かける虫・博物館・美術館・図書館などで働く人たちへ-』 公益财团法人 文化财虫菌害研究所 編 2015 『文化財審由事典』文化財研究所東京文化財研究所 編 クバブロ 2004年改訂版 『図書館員のための図書補修マニュアル』小原由美子 教育史料出版会 2000

ありがとうございました